# 遊YOU米 たわら新聞 第16号

遊佐町共同開発米部会広報部編集 平成19年 8月増刊号

増刊号では、援農に取り組む遊佐町を開発米部会が紹介させていただきます



NPO法人 遊佐環境協働組織 鳥海自然ネットワークは、山形県遊佐町の環境を守りその魅力をさらに引き出すために活動しています。その出発点は鳥海山の水源保全です。水源の保全には山林や里地農地を耕作し続けることが必要ですが、機械化できない農作業や人手のかかる山仕事をする人が少なくなっているのです。消費者・生産者という枠組みを超え、自然に触れ田舎を楽しみながら農作業・山仕事等、お手伝いいただける方を募集します。

接着がもギッアー

遊佐町では、庄内柿の収穫が10月中旬から始まり、脚立を使って、柿の木から柿の身を収穫し、選別・出荷する作業に追われます。この収穫作業のお手伝いをいただける方を募集します。

日 程 10月27日 (土)11:00 現地集合・作業講習

28日(日)8:30~17:00お手伝い

29日(月) 8:30作業 15:00解散

希望者は11月4日(日)まで延長可能。

募集人員 6 名程度

参加費 3,000円(保険料+昼食費)

作業謝礼 1日作業で3,000円

### 森づくりツア

私たちが水源を守るために保有した約 46 a の山林の下刈や枝打ち、林地整備を一緒に行って下さる方を募集します。山仕事の内容は、地元の先生が指導し始めての方でも安全に作業できます。

日 程 11月10日(土) 15:00集合・現地見学会、森づくり学習会

11日(日) 8:00 森づくり作業

13:00 湧水めぐりツアー

鮭の塩引きづくりを行って、後日お宅まで郵送します。

募集人員 15 名程度 参加費 7,000 円

(保険料+昼食費、交流会費等)

このほか農業に関心のある人たちが挑戦する機会を「農業塾」として、講師に参加者(3人程度まで)が 1年間一緒になって、農業にチャレンジしてもらえるようなコースもあります。

### 講師&テーマ

今野 進 百姓生活

真島 一 自然によりそう生き方

菅原 英児 米づくり一筋

阿部 浩 がんばる中間地農業

#### すべての連絡先お問合せは 〒999-8301

山形県飽海郡遊佐町遊佐字京田98-3 特定非営利活動法人遊佐環境協働組織鳥海自然ネットワーク

Tel & Fax 0 2 3 4 - 7 2 - 2 4 5 5

E-mail chokainet@yahoo.co.jp

#### ゲストハウスの紹介

いつでも遊佐にきて滞在するために、宿泊できるゲストハウスを設置しております。 鳥海自然ネットワークの事業に参加いただく方には無料で宿泊できます。

ゲストハウスは遊佐町の中心街に位置し、遊佐駅から歩いて5分で、部屋数は5部屋あり、約15名程度の宿泊が可能です。自炊のための食器や鍋等は準備されており、近くで食事をとることも可能です。ゲストハウスの向かいに銀行、2軒隣にスーパーがあります。

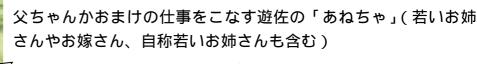


#### お気軽にどうぞ!





## 孫 田んぼ日誌 がんぱる女性陣・草刈りり作業



、おふくろに言わせると「男だぢは集まりばっかで、あでならね」、
耳が痛い…。

嫁に来て10年が過ぎ、草刈り作業も様になってきたかな? 嫁さん一言「ストレス解消には草刈りが一番!」 ストレスた めさせてるのは俺ですか?...、聞けない...。



鳥海山の山頂付近から見た雪渓です。下界は猛暑日でも山は爽快でした。これが山肌を浸透し遊佐の田んぼに流れ込むんだなぁと実感。

### 遊佐人への道「恥ずかしがりつつ社交上手」

6月に70人ものアメリカ人が遊佐に来て、5泊のホームステイをした。こんなに多くの外国人が来たのは、遊佐の歴史上初めてのこと。遊佐弁しか話せない遊佐人たちも、ホストファミリーとしてがんばった。遠くから来た人に対して好奇心旺盛なのが遊佐人。(毎年たくさんの生活クラブ組合員が来てくれるおかげで来訪者に対する免疫が出来上がっているのか?)「いい言葉(標準語のこと)

しゃべれねぐで、だめだ…」というわりに、 いざとなると、言葉の違いなど気にしないで がんがん話しまくる。遊佐弁と英語でもなん となく通じ合ってしまった。実は、かなりの 社交上手?

〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1 遊佐町共同開発米部会事務局(JA庄内みどり遊佐営農課内) Tel.0234-72-3234 E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/